

市民提案型協働事業実施計画書

協働事業名	多文化子育て支援事業 ～子育て通訳サポート～
事業目的 （現状、課題及び提案理由等）	和光市には近くに頼れる人や友人もいない孤立した外国籍家族が多い。言葉の壁、文化や生活習慣の違いがあり、子育てしている人は、子どもの入園、入学、行事への参加等、日本人と同じ説明では伝わりきらない事が多い。子育て通訳サポーターが同行することにより、解り易い説明を聞くことが出来、間違った情報の取得を未然に防ぐ。和光市での生活がより豊かなものになるように、生活への不安を軽減、孤立を防ぐ。
事業内容	【多文化子育て通訳サポーター養成講座開催】 対象者：子育て支援に理解があり、和光市近隣在住で、通訳現場に単身で赴くことができ通訳ができる方。日本人、もしくは外国籍をもち日本語が堪能な方（医療通訳は含まない） 語学の資格：和光市の多文化共生ボランティアの資格に準ずる 講座概要：NP0 法人わこう子育てネットワークの説明、本協働事業の説明、多文化子育て支援について、子育て通訳サポートについて 説明：NP0 法人わこう子育てネットワーク、和光市総務人権課 講師：東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科 子ども支援学専攻 教授 内田千春氏、NP0 法人わこう子育てネットワーク代表 森田圭子 【スキルアップ研修会開催】 対象者：子育て通訳サポーター登録者（当日参加できない方は、事前にヒアリングし、資料の送付などでフォローする） 講座概要：多文化子育て通訳サポートの課題と対応、相談 講師：ふじみの国際交流センター代表 石井ナナエ氏 【運用】 利用対象者：和光市在住の外国籍家族（18 歳以下の子を持つ保護者、妊娠中の方） 活動場所：幼稚園、保育園、学校等教育機関など 利用料：1 回 2,000 円、交通費別（市外は利用者負担） ※利用者が通訳者に直接全額支払いする。 運用の流れ：別紙①参照

	【広報】 ＜通訳サポーター募集＞ 制作物：チラシ、ホームページ、広報などに載せる文面 方法：ホームページ（和光市、NPO 法人わこう子育てネットワーク）、和光市広報、近隣の他市広報、SNS、チラシ配布（市内小学校全戸配布、幼稚園、保育園、子育て支援センター、児童館、公民館、図書館、他市内施設、市内掲示板など）、市役所総務人権課より、多文化共生ボランティア、国際交流協会へ案内をする ＜通訳利用者募集＞ 制作物：チラシ、ホームページ、利用申込書、広報などに載せる文面 方法：ホームページ（和光市、NPO 法人わこう子育てネットワーク）、SNS、チラシ配布（市役所窓口、保育園、幼稚園、教育機関、市内施設、市内掲示板など）	
役割分担	団体 ・サポーター養成講座企画・運営 ・スキルアップ研修企画・運営 ・講座や研修の講師選出・調整 ・広報物の作成 ・広報活動（チラシ配布など） ・運用	行政 ・サポーター養成講座企画・運営 ・スキルアップ研修企画・運営 ・講座や研修の場所確保 ・広報物の作成 ・広報活動（チラシ配布など） ・市役所内の各部門との連携
協働の必要性	団体 ・事業の信頼感が高まり、より良いサポーターの確保、利用者の安心感が生まれる。 ・広報活動を広く行うことができ、また、市役所に訪れる外国籍家族、保育・教育機関などの施設に有効に利用案内が行える。 ・今後、制度として定着することが期待できる。	行政 ・日頃から外国籍家族と交流のある市民団体と協働することで、外国籍家族へのサポート体制の構築が図られる。 ・行政単独ではなかなか関わることがない外国籍家族の課題把握・解決に繋がる。
年間スケジュール （別添可）	別紙②参照	
事業の実施体制（関係者、有資格者等）	東洋大学 ライフデザイン学部生活支援学科子ども支援学専攻 教授 内田千春氏、 ふじみの国際交流センター代表 石井ナナエ氏	

協働の成果	団体 ・今まで活動してきた中で対応できなかった通訳での課題をサポートできるようになる。 ・多文化子育て支援に関わる新たな人材の発掘ができる。	市民 ・外国籍家族が子育て場面での情報を理解しやすくなり、生活において、安心感が生まれ、孤立を防ぐ。 ・子育て通訳サポーターと利用者の市民同士が助け合う機会になる。	行政 ・外国籍家族が子育て場面で情報を理解できないという課題をサポートできるようになる。 ・外国籍家族の意見や要望を把握する機会になる。
成果指標	・通訳サポーター登録人数 ・利用問合せ件数 ・利用件数 ・利用者アンケート		
事業と関連する団体の特徴及び活動実績	NP0 法人わこう子育てネットワークは 2000 年より子育て支援を開始 2010 年より多文化子育て支援事業開始 多文化子育て支援サポーター養成講座開催 現在多文化子育てサポーター登録者 30 名 埼玉県多文化共生キーパーソン 2 名在籍 自主事業：外国人家族交流会、多文化子育てサロン、クリスマス会開催 北第二子育て世代包括支援センターの外国人おやこのつどい協力、外国人家族の子育て相談交流デーの企画、運営 外国籍家族の相談対応。子育て支援施設送迎。外国籍家族同士をつなぐ市役所や母子保健ケアマネジャー、理化学研究所からの相談対応 教育委員会へ学習指導者紹介		
事業終了後の展望	市の制度として次年度以降も継続し、定着させていく。さらに、言語の充実や、事業運用時の課題や外国籍家族の意見や要望をもとに、サポート内容の改善を図っていく。 外国人と日本人が共存し、外国籍家族にとって和光市が住みやすい街になる。		

※ A4 サイズ 3 ページ以内で、できるだけわかりやすく、具体的に記載してください。